

1 主 題 「ボールあそび」 1-(3) 勇気

2 主題について

よいことや正しいことについての理解は、経験を通してしだいに深まっていく。しかし、よいことと分かっているにもかかわらず、それを実行することはなかなか難しいし、よくないと分かっているにもかかわらず、ついやってしまうこともある。それは、周りの目を気にしたり、人につられたり、自分の欲望に負けてしまったりするからである。そこで、自己の中に断固とした勇気を持ち、進んでよいことや正しいことをしていこうとする態度を育てることが大切である。

1年生は、よいことや正しいことの判断が少しずつできてくるときで、よいことをしてほめられたり、認められたりしようとする気持ちが強い。しかし、それはまだ他律的で、自分自身の判断で進んでよいことをしようとする自律的な態度は十分育っていないし、楽しいことに夢中になり、正しい行動ができないこともよくある。そこで、この時期に、よいことと悪いことを区別する心や、よいと思うことを進んで行おうとする気持ちを育てたい。

3 本時の授業(1/1時)

(1) ねらい

- ・ よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする気持ちを育てる。

(2) 本時の評価規準

- ・ よいと思ったことを進んで行った満足感に気付き、実践への意欲をもつことができる。

(3) 準備・資料

- ・ 教 師：場面絵、黒板貼付カード、ペープサート

(4) 過 程

主な発問  言語活動に関する事項

段階 時間	学 習 活 動	・留意点 <input checked="" type="checkbox"/> 支援 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 道徳的価値との関連
気 づ く 5 分	1 よいと思っても、進んでできなかった体験を発表する。 ・ 困っている友達がいても、恥ずかしくて助けてあげることができなかった。 ・ 大きな声であいさつができなかった。	<input checked="" type="checkbox"/> よいことが進んでできなかった体験を思い起こさせ、価値への方向づけをする。
と ら え る 8 分	2 資料「ボールあそび」の範読を聞く。 (1) 資料の内容をとらえる。 (2) 場面絵を見ながら、話の流れをつかむ。	・ 範読し、資料の内容を理解させる。 ・ 場面絵を黒板に貼って、状況を具体的につかませる。
深 め る	3 主人公「ぼく」の気持ちについて話し合う。 (1) 空き地で小さい子たちが遊んでいるのを見たとき、どんなことを思ったかを考える。	・ ボール遊びが好きな「ぼく」の気持ちを共感的にとらえさせ、悪いと思わずに、小さい子たちのボールを持ってきたことに気付かせる。

<p>深 め る</p> <p>17 分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ぼくたちもボール遊びがしたいな。</li> <li>ボールを持ってくればよかったな。</li> <li>ボールを貸してもらおう。</li> </ul> <p>(2) <u>小さい子たちが、まさおさんに「返してよ。」と頼んだとき、どんな気持ちだったかを話し合う。</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「返してよ。」と言われたとき、「ぼく」はどんなことを思いましたか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>小さい子たちのボールだから、返さないといけない。</li> <li>まさおさんに言いたいけど、嫌われるかもしれないから、返そうと言えない。</li> </ul> <p>(3) 「返してあげようよ。」と、思い切って言えたぼくの気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まさおさんが「しょうがないなあ。」と言って、返してくれてよかった。</li> <li>小さい子たちがうれしそうで、よかった。</li> <li>よいことをするのは、気持ちがいいな。</li> </ul>	<p><input checked="" type="checkbox"/> ペープサートを使って役割演技をさせて考えさせる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 自分たちがいけないことをしていることに気づき、葛藤している「ぼく」の気持ちに気付く。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 勇気をもって言った「ぼく」の満足感に気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ほっとした「ぼく」の気持ちをつかませ、よいと思ったことを進んで行った満足感に気付かせる。</li> </ul>
<p>見 つ め る</p> <p>10 分</p>	<p>4 <u>自分を見つめる。</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「ぼく」のように、悪いことだと気付いてやめたり、よいことが進んでできたりしたことはありますか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>休み時間に教室で走り回っていたけど、危ないなと思ってやめた。</li> <li>清掃の時、遊んでいる子に注意した。</li> <li>トイレのスリッパをそろえた。</li> <li>恥ずかしかったけど、近所の人に大きな声であいさつした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表された体験談の、その後の気持ちのよさを語らせ、実践への意欲を高める。</li> </ul> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>よいことと悪いことを区別し、進んでよいことをしようとする気持ちをもつことができたか。</p> </div>
<p>あ た た め る</p> <p>5 分</p>	<p>5 教師の話聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んでよいことをすることのすばらしさを話す。</li> </ul>

4 反 省

5 高 評